

■効果の見える治水事業

徳島県 南山東谷 通常砂防事業

徳島県県土整備部 いしもと のぼる
 東部県土整備局長 石本 昇



○概要

吉野川水系南山東谷は、名西郡神山町東稲原に位置する土石流危険渓流Ⅰです。当流域内には、人家が14戸、緊急輸送道路である一般国道438号や町道等の重要施設があります。

近年、当箇所の上流部では、荒廃が著しく、出水時には溪流堆積物の流下及び突発的な山腹崩壊に伴う土石流等により、下流域の人家等に甚大な被害を及ぼす恐れがあるため、早急な対策工の実施が必要となっておりました。

このため、平成21年度より通常砂防事業による砂防堰堤の整備に着手し、これまでに、本堤工が完成しており、現在、本年度の完成を目指して、床固工の施工を進めているところです。

本県の中山間地域には、土砂災害により孤立化する恐れのある集落が多数あることから、引き続き、緊急輸送道路や避難路を保全する箇所の整備に重点的に取り組んでいきたいと考えております。

○事業内容

砂防堰堤

本堤工 1基 (H=9.5m L=44.0m)

床固工 2基

○事業期間

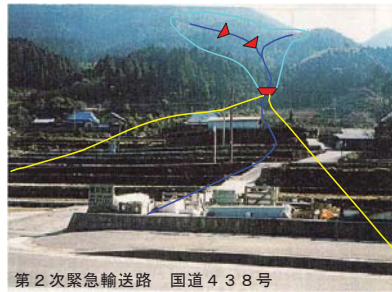
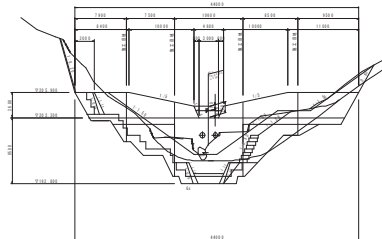
平成21年度～平成24年度(予定)

位置図



南山東谷通常砂防事業

正面図



第2次緊急輸送路 国道438号



平成24年7月現在 前庭保護工施工中

談話室

■「安全で住みやすい神山町をめざして」

ごとう まさかず
 神山町長 後藤 正和



神山町は、徳島県の中央部に位置し吉野川支流の鮎喰川流域を中心とする東西約20km、南北約10km、面積173km²の町域内に、約2,600世帯、人口約6,400人が住んでいます。温暖多湿な気候で、スダチ、梅、椎茸の産地として知られています。特にスダチは全国一の生産量をほこっています。

本町は、町内の中心を流れる鮎喰川を中心に急峻な地形からなり、古くから急傾斜地、土石流危険箇所の指定箇所が多く台風等の襲来ごとに大きな被害が発生しています。

平成21年の台風は雨量が多く、五反地地区において、鮎喰川が氾濫し30戸近くの民家が床上、床下浸水を受け、本町から徳島市へ向かう県道石井神山線が一時遮断されるなど、交通に影響をうけました。その後県土整備局などのご協力により、まだ一部ですが河道の狭い箇所の護岸のカット、ライブカメラ設置等浸水対策を進めていただいております。

河川の氾濫以外にも、近年河川の河床低下があり、これはまた護岸流出などの災害の襲来が危惧されるところです。

このようなとき、地元においては町内会が中心となって地域住民が自主的に防災活動を行う組織が五反地地区において被災1年後に発足し日ごろから住民と行政等が一体となって災害に備え、防災訓練、避難訓練などを実施しています。

本町においても、災害の発生が予測される時、また災害時に役場に集まった情報や避難勧告など、地域住民に知らせる防災行政無線をアナログよりデジタルに一新し、より強い防災の町を地域住民とともに取り組み、安全で住みやすい神山町をめざして参りたいと考えております。

自主防災組織による消火訓練



焼き出し



狭い箇所の護岸カット

